

令和7年5月30日 身体的拘束最小化研修

身体的拘束最小化に向けて みんなで考えよう

「2040年には日本の高齢者の6～7人に1人が認知症と言われる」と予測されています。

当院でも認知症の方をケアする機会が多くあり、自分事として捉え、誰もがその人らしく暮らしていくことができる社会を作っていく必要があります。

研修では、人を中心としたケアである

「パーソン・センタード・ケア」を確認しました。

1人の人として周囲に受け入れられ、尊重されることを大切にすることで、その人らしさの維持、向上を図ることが「パーソン・センタード・ケア」です。

診療報酬改定で保健医療機関においても身体的拘束最小化が明文化されました。その人を中心としたケアを行うことで、おのずと身体的拘束最小化は実現されます。



病院理念である「**あなたのえがおを大切に**」を組織一丸となつて考え、実践していきます。